



広報

よろん

2011.06
VOL.283

▶ ひとのうごき

町の人口（平成23年4月末現在）
人口 5,492人
（男2,676人・女2,816人）

世帯数 2,425世帯
（平成23年3月～4月移動分）

●出生 8人 ●死亡 11人
●転入 110人 ●転出 126人

力強い取り組みに大声援！



Contents

特集

- ▶ 平成23年度 施政方針
- ▶ 第5次与論町総合振興計画がスタート

- ▶ まちの話題（「春」新しい学校生活のスタート！ほか）
- ▶ 与論町子育て支援金制度
- ▶ 実績報告 ヨロン島サンゴ礁基金
- ▶ 暮らしの情報（健康診断の受け方 ほか）
- ▶ 島のムヌガッタイ（ゆんめ体験館がオープン！）

第4回与論町相撲選手権大会

大きなこいのぼりがたなびく下、琴平神社境内の土俵で、第4回与論町相撲選手権大会が4月24日に開催されました。

大会では、小学生・中学生・一般の部門に分かれ、力強い取り組みが繰り広げられました。会場には、子どもや孫、知人の雄姿を一目見ようと沢山の観客が集まり、大きな声援を送りました。

発行：与論町 編集：総務企画課

〒891-9301 鹿児島県大島郡与論町茶花 32-1 TEL.0997-97-3111 FAX.0997-97-4197

WEB <http://www.yoron.jp/> E-Mail kikaku@yoron.jp

平成 23 年度 施政方針



共に創ろう 未来への架け橋 ~元気・チャレンジ・感動~

平成 23 年度第 1 回与論町議会定例会で、南政吾町長が、平成 23 年度の町政運営の所信表明と予算の概要を明らかにする施政方針演説を行いました。ここに、その内容を抜粋してご紹介します。

町政運営の基本的な考え方

渾沌とした 世界情勢の中で

平和で成熟した新しい世紀を期待して迎えた 21 世紀も第 2 の 10 年を迎えました。

しかしながら、世界は「エジプト政変に伴う専制各国の民主化問題」「北朝鮮による韓国・延坪島（ヨンピョンド）砲撃」「尖閣列島沖の中国漁船衝突事件」「メドベージェフ大統領の北方領土訪問」「TPP 加盟問題」等まさに渾沌とした状況を呈しております。

また、我が国もグローバル化の波に飲み込まれ、リーマン・ショック以降、景気は緩やかに回復傾向にあるものの、依然として深刻なデフレーション（物価の持続的下落）の出口が見出せない状況にあり、1968 年

に旧西ドイツを追い抜いて以来 42 年間守ってきたアメリカに次ぐ「世界第 2 の経済大国の座」を中国に明け渡し、勢いをなくした日本の姿を印象付けており、グローバル化への積極的な対応が求められております。

第 4 次与論町総合振興計画 人と自然が輝く オンリーワンの島づくり

一方、本町におきましては、平成 12 年度に、21 世紀初頭における 10 年間の本町の進むべき新たな方向付けをするため、町内外の方々の英知を集め、「第 4 次総合振興計画」を策定いたしました。

本計画において、私たちは足元にある自然や資源、人を十分に活用することで、他の地域にない特徴ある人づくり、産業づくり、町づくりを行い、島に住

き、平成 22 年第 4 回与論町議会定例会において議決していただいたところでもあります。

「共に創ろう 未来への架け橋 ~元気・チャレンジ・感動~」を基本理念に、町民の発意と創意工夫により産業を基本とした活力のあるまちづくり、町民が島の可能性を強く信じながら、元気で新たな未来に向け果敢にチャレンジし、感動と希望を共有できるまちづくりを進めることにより、新たに過疎地域に指定されたことに伴う過疎計画とも連動させながら、まちの将来像である「南の島の豊かな心と自然が創る活力と希望のあるまち」の実現に鋭意取り組んで参りたいと考えております。

平成 23 年度施政方針全文は、
与論町ホームページから、
ご覧いただくことができます。
■与論町ホームページ
<http://www.yoron.jp/>
町政↓計画・方針↓施政方針

- 町営「増木名住宅団地」「宇和寺団地」の整備
- 「海中宮殿」「ゆんぬ体験館」等観光スポットの整備
- 町民永年の課題であった火葬場の整備
- 肉用牛販売額 10 億円の達成及び、堆肥センターの整備
- 茶花小学校体育館・プール及び、与論小学校校舎の整備
- 錦江町との姉妹盟約協定締結
- 与論港コースタルリゾートの整備
- バスポート申請交付業務の地元開始
- ヨロン特産品支援センターの整備
- ヨロン島サンゴ礁条例の制定
- （有）エスユー、（株）リンクス、日本マルコ（株）等の企業誘致
- 光ファイバ、ADSL の全島サービスの開始
- 地域再生計画を活用した鹿児島大学与論活性化センターの誘致
- 特定交通安全施設整備事業の

む人々、特に子供たちが自信と誇りを持てる「人と自然が輝くオンリーワンの島づくり」を基本理念に掲げ、本総合振興計画を道標に、町民の皆様と行政が協働・連携しつつ、平成 13 年度から関係機関・団体が一丸となって「若者が帰ってこられる魅力ある島づくり」そして「全ての町民が希望を持って安心して住める実りある島づくり」を基本的な考え方として、守りの戦略としての徹底した行財政改革と攻めの戦略としての外貨を獲得できる産業おこしを進めてまいりました。

保健福祉部門、教育部門、産業基盤及び生活基盤等の整備は基より、戦略プロジェクトとして必要かつ重要と位置付けた 6 プランについて、その実現に向け鋭意取り組んできたところであり、主なものとして、

□淡水施設の整備による安全でおいしい水の供給

第 5 次与論町総合振興計画が 今年度よりスタート 共に創ろう 未来への架け橋 ~元気・チャレンジ・感動~

これらの総括を含め平成 20 年度から第 5 次総合振興計画策定に向け町内準備検討委員会、町民との意見交換会、町民向けアンケート実施及び人口推計調査、ワーキング委員会、まちづくり委員会、策定委員会、審議会等を数回にわたり開催するとともに、各種団体との意見交換会や島外から専門の講師を招聘した意見交換会を開催してまいりました。

平成 22 年 12 月与論町振興開発計画審議会からの最終答申を頂

第5次与論町総合振興計画がスタート 共に創ろう未来への架け橋 ～元気・チャレンジ・感動～

平成23年度から平成32年度までの10年間のまちづくりの目標を示した「第5次与論町総合振興計画」が今年度からスタートしました。

基本理念は、「共に創ろう 未来への架け橋～元気・チャレンジ・感動～」

町民の発意と創意工夫により産業を基本とした活力のあるまちづくり、町民が島の可能性を強く信じながら、新たな未来に向けて果敢にチャレンジし、感動と希望を共有できるまちづくりを進めることにより、まちの将来像「南の島の豊かな心と自然が創る活力と希望のあるまち」への道を着実に歩んでいきます。

ここでは、今回策定された振興計画の骨子と、具体的にどう進めていくかを示した重点プロジェクトのねらいをご紹介します。

第5次与論町総合振興計画の骨子

計画の期間：平成23年度～平成32年度

基本構想

基本理念 共に創ろう 未来への架け橋
～元気・チャレンジ・感動～

将来像 南の島の豊かな心と
自然が創る活力と希望のあるまち

基本計画

- | | |
|-------------|----------|
| 1. 保健・福祉・医療 | 4. 生活基盤 |
| 2. 教育・文化 | 5. 共生・協働 |
| 3. 産業 | 6. 行財政 |

重点プロジェクト

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 健康増進プロジェクト | 4. 農水産業プロジェクト |
| 2. 子宝プロジェクト | 5. 環境プロジェクト |
| 3. 人づくりプロジェクト | 6. 観光プロジェクト |

第5次与論町総合振興計画を進める、6つの「重点プロジェクト」その「ねらい」

1 健康増進プロジェクト

少子高齢化が進む中、健康で生きがいを持ち、誰もが安心して暮らせる長寿のまちづくりを目指して、食生活習慣の改善や運動不足の解消、ストレス解消など、「健康よろん21」に基づき、町民の心身の健康づくりに対する意識の啓発と積極的な健康づくり活動の取り組みを促進します。

3 人づくりプロジェクト

島に暮らす人々、特に島の将来を担う子どもたちが、生まれた島に「自信」と「誇り」を持ち、元気で心豊かな人となるよう教育環境の充実を図り、人づくりを推進します。
また、様々な分野において、まちづくりや地域を興す人材を育成し、未来を創造する人づくりを進めます。

5 環境プロジェクト

町民の環境問題に対する意識の高揚を図り、豊かな自然環境の保全に努めながら、自然との共生に配慮したまちづくりを目指します。

2 子宝プロジェクト

島の将来を担う子どもと子育て家庭への支援は、「島の未来への投資」と捉え、子育ては次代の親づくりとして、町全体で子どもを大切にし、豊かな人間性の形成を目指すとともに、自立して家庭をもつことができるような長期的視野に立った子どもたちの健全育成を推進します。

近年、家庭や家族の形態、親の就労の状況など、子どもを取り巻く環境が多様化しています。ひとり親家庭、虐待を受けた子どもたち、障がいのある子どもたちなど、特別な支援が必要な子どもが増えています。このことから、すべての子どもたちが人間として、尊重され、その育ちが等しく保障されるよう取り組んでいきます。

4 農水産業プロジェクト

農業・漁業は本町の経済の基盤であり、就業者が多いことや他業種への波及効果の大きさからも安定的な発展が最も望まれています。そのため、関係機関が一体となり諸事業を展開することで魅力を生みだし、後継者や担い手となる人材を確保・育成し活性化を図ります。

さらに、農水産物の加工を推進し、未利用資源の活用を図ると共に、島内自給率の向上、島内生産力の向上を図り、資源の安定供給と活用を高め、町民の収益向上と特産品開発による魅力ある「ものづくりの島」を目指します。

6 観光プロジェクト

長引く景気の低迷により、与論はもとより全国的に観光に対する状況は厳しくなっています。
これから観光地として生き残っていくためには、旅行者のニーズに対応するために長く愛される観光地として再生するための魅力づくり、体制づくり、人材づくりが求められています。

第5次与論町総合振興計画の詳しい内容につきましては、計画の内容を短くまとめた冊子（概要版）を、後日全戸配布します。

この記事に関するお問い合わせは
与論町役場総務企画課まで
TEL 0997-97-3111

「春」新しい学校生活のスタート！

小・中・高の各校で入学式

町立3小学校には、与論小16名、茶花小21名、那間小16名、合計53名のピカピカの一年生が入学。在校生や保護者が見守る中、待ちに待った小学校生活をスタートさせました。
また、与論中学校には50名、県立与論高等学校には53名の生徒が入学。新しい制服に身を包み、心身ともに大きく成長する中学・高校生活への一歩を踏み出しました。



黄色い傘を頂きました・那間小



元気に進んできました・茶花小



沢山の在校生、保護者が見守る中、期待を胸に迎えた入学式・与論小

海の安全とすこやかな成長を祈って

旧暦3月3日 海開き・浜下り 4月5日



海の安全祈願の神事が行われました

旧暦3月3日に当たるこの日、茶花海岸に各種団体長が集まり、海の安全を祈願しました。
なお、この日は潮が大きく引く時期にあたり、島の人々は干潮あわせて、潮干狩りに繰り出しました。また、新生児がいる家庭では、赤ちゃんの足を海につけて、すこやかな成長を願いました。

与論島に豪華客船がやってきた！

「ばしふいっくびいなす」が茶花港に寄港 4月11日



見上げるほどの豪華客船が与論島に寄港

豪華客船「ばしふいっくびいなす」が、茶花港に寄港しました。与論島に降り立った乗客たちは、それぞれに島内を巡り、短い時間ではありましたが与論島を満喫しました。
夕方、出港の時間になると、ゆんぬエイサーの力強い演舞が披露され、「ばしふいっくびいなす」の安全な旅を願って出港セレモニーが行われました。

私たちに今できること

復興支援フリーマーケット開催 4月24日



出店者のみなさん(上)と、応援メッセージを書く子どもたち(下)



東日本大震災で被害を受けた方への復興を支援するチャリティフリーマーケットが、ヨロン島スポーツクラブ主催により、多目的屋内運動場で開催されました。
会場には、衣類や雑貨のほか、飲食コーナーや、被災者のみなさまに向けた応援メッセージ記入コーナーなども設けられ、多数の来場者が集まりにぎわいました。
ご来場いただいたみなさま、出展していただいたみなさま、ご協力ありがとうございました。

海を望むコースに挑戦！

第11回ヨロンパナウル王国旗グラウンドゴルフ大会開催 4月27日



島々の交流を深めながら、日頃の練習の成果を披露しました

徳之島、沖永良部島、沖繩から多数の参加者を迎えて開催された、第11回ヨロンパナウル王国旗グラウンドゴルフ大会。会場となったコースタルリゾートには、与論島の海を望む開放感あふれるコースが設置され、参加者は、お互いの島々の交流を深めながら、グラウンドゴルフを楽しみました。
団体の部では、那覇ゴールド会が優勝。個人男子の部では、當間真幸さん、個人女子の部では、棚原ミヨさんが優勝されました。

にぎわいを見せた感謝祭

第11回銀座通り感謝祭開催 5月5日



賑わう銀座通り(上) 高校生のフルーツ演奏の披露(下)



例年より早い梅雨入りで、雨に見舞われた銀座通り感謝祭。日程を順延しての開催となりました。
ゆんぬエイサーの演舞で始まった感謝祭は、与論高校吹奏楽部による演奏披露など多数の催しが行われました。また、様々な屋台も出展し、銀座通りは沢山の人で賑わいました。今年初の試みとして開催された、「G-1グランプリ」には9店舗が出店し、各店自慢の料理を披露。ブクブクダイバーズの「島トマト」の牛煮込がグランプリに輝きました。

実績報告 ヨロン島サンゴ礁基金

ヨロン島サンゴ礁基金を通じて、与論町にたくさんの応援をいただき、誠にありがとうございました。本町では、ヨロン島サンゴ礁基金、また、かごしま応援寄付金を通じて与論町にお寄せいただいた寄付金を、本島の豊かな自然環境・地域資源の保全や文化・芸能の伝承等を図るため、4つの事業に活用させていただきます。

ここで、平成22年度にご寄付いただいた実績と、活用状況の事例をご紹介します。

平成22年度の寄付実績

事業名	件数	金額
サンゴ礁と共生する環境保全に関する事業	21	545,636円
ヨロンマラソン大会の運営に関する事業	10	108,000円
与論十五夜踊りの保存に関する事業	4	75,000円
離島の振興に関する事業	32	980,549円
合計	67	1,709,185円

寄付金の活用状況

■サンゴ礁と共生する環境保全に関する事業



サンゴ祭事業（平成22年度）サンゴ祭会場に設置されたサンゴブース（左）と、メッセージが書かれたサンゴ増殖用具（右）

■離島の振興に関する事業



与論小学校校章整備事業（平成20年度） 与論小学校書庫整備事業（平成21年度） 緑化推進事業（平成22年度）

サンゴ礁基金と共に贈られた応援メッセージをご紹介します！

■48年前（大学生）の時から、十数度にわたり与論島へ訪問させていただき、島の方々には大変お世話になってます。大阪生まれでいなかを持たない小生にとって、与論は第2のふるさどです。僅かですがお役立て下さい。（大阪府Tさん）

■未来の与論に夢と希望をこめて寄付いたします。有効に使って下さい。（埼玉県Nさん）

■ヨロンマラソンに第1回目より参加させて頂きいつもお世話になってます。島の人々の暖かいもてなしの心がとても嬉しく思います。マラソン大会が、今後も続くことを願うとともに、与論が発展することを願い、ほんの多少ではありますがお役に立てればと思います。（福岡県Tさん）

▶ヨロン島サンゴ礁基金に関するお問合せ先◀

与論町役場 総務企画課 ヨロン島サンゴ礁基金係 TEL：0997-97-3111

与論町子育て支援金制度



この度、与論町の出産、子育てを支援するため、与論町子育て支援金制度ができました。

この制度は、与論町子育て支援金を支給することにより、子ども達が将来町の発展を担う人材となるよう健やかに成長し、活気に満ちた町の創造を願い支給される与論町独自の制度です。

与論町子育て支援金制度のしくみ

支援金を受けることができる方

与論町に住所がある方で、平成23年4月2日以降に生まれた子を養育している場合に受け取ることができます。ただし、以下の支給要件をクリアしていることが支給の条件となります。

支給要件

養育者が児童の誕生日より前1年以上継続して与論町に住所があり、児童の誕生日から引き続き6年以上与論町に住所があることを確約できる者

支援金の額と支給の方法

支援金額とその支給方法は、次のとおりです。

出生時、小学校入学時、中学校入学及び卒業時にそれぞれ規則で定める額が支給されます。

児童数	子育て支援金額	支給時期			
		出生時	小学校入学時	中学校入学時	中学校卒業時
第1子	100,000円	50,000円	10,000円	20,000円	20,000円
第2子	200,000円	50,000円	50,000円	50,000円	50,000円
第3子	500,000円	100,000円	100,000円	100,000円	200,000円
第4子	600,000円	100,000円	100,000円	200,000円	200,000円
第5子	700,000円	100,000円	200,000円	200,000円	200,000円

※第6子以降の支援金の額は、別途規則で定める通りとします。

申請に必要なもの

住民票謄本、申請者の通帳、印鑑



▶与論町子育て支援金制度に関するお問い合わせ先◀

与論町役場 町民福祉課（担当：竹沢） TEL：0997-97-3111（内線214）

今年の標語

みがこうよ 未来へつなげる じょうぶな歯

★歯の衛生週間 6月4日～6月10日★



歯周病は生活習慣病

生活習慣病とは、その名のとおり、普段の生活習慣が原因で発病・進行する病気のことをいいます。

歯周病は、生活習慣がその症状を大きく左右することから、生活習慣病のひとつとされています。

規則正しい生活を送り、全身をより良い健康状態に保つようにつとめることは、歯周病の予防・改善につながります。

歯周病にかかりやすい生活習慣

喫煙

喫煙によって歯ぐきが血行不良となり細菌に対する抵抗力が低下するため、歯周病を発病悪化させます。



ストレス

精神的ストレスで体の抵抗力が低下し、歯周病が悪化します。

不摂生な生活

不摂生な生活は、全身性の生活習慣病の引き金になります。生活リズムが乱れると、歯磨きのタイミングまで乱れてしまいます。



食習慣

甘いものや、やわらかいものを多く食べることで細菌が増えます。



県労働委員による「労働に関する無料相談会」

職場のトラブルで悩んでいませんか？

個々の労働者と事業主との間に生じた労働に関するトラブルについて、県労働委員が、相談に応じます。労働者、事業主のどちらでも、お気軽にご相談ください。

- 日時：毎月第4火曜日 午後2時半～午後5時 受付は、午後4時半まで
- 場所：県庁労働委員会(15階) ※お申し込み不要です。(事前予約可能)

■お問い合わせ先
鹿児島県労働委員会事務局
TEL：099-286-3943

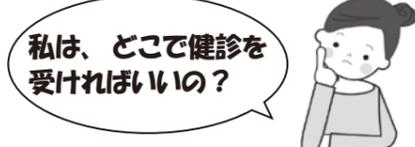
4月届出分				3月届出分			
阿野	川口	吉田	井清	中村	池田	基鉄	川上
スエ	信ケ	二		トヨ	ナヘ	雄昭	榮光
92歳	94歳	101歳	82歳	92歳	96歳	84歳	83歳
茶花	茶花	茶花	茶花	立長	古里	那間	茶花

※婚姻、出生、死亡とも掲載承諾を頂いた方のみを掲載しています。(敬称略)

4月届出分				3月届出分			
白石	有馬	垣内	清水	町志	山田	志摩	山田
遅真	縁え	功に	悠杏	ゆあん	あい花	邑莉	けいすけ
和行	淳	亮二	章次	幸次郎	優一	隆治	立長
立長	立長	立長	立長	東区	朝戸	立長	

40歳になったら 毎年恒例の健康チェック！ 健康診断の受け方 (与論町国民健康保険被保険者)

※40歳～74歳の方が対象です。



- A** 会社で行う、健康診断を受ける
お勤めの会社の実施する、健康診断を受けてください。その結果を、保健センターへ提出してください。
- B** 定期的に医療機関にかかっている(血圧・糖尿病・高脂血症等)
このような方は、主治医の先生に総合的に把握していただくことが大切です。かかりつけの医療機関からの検査結果を、保健センターへ提出してください。
- C** 今年度内に、人間ドックを受ける
人間ドックの結果を、保健センターに提出してください。

A B C に当てはまらない方 ... 集団健診(厚生連健診)を受けましょう!

健診日程：6月19日(日)～24日(金)
受付時間：7:30～9:00
場 所：砂美地来(サミチキ)館

特定健診ってどんなことをするの？
問診・身体計測(身長・体重・腹囲)・尿検査・血圧測定・血液検査

平成23年度は受診率60%を目指しています。平成24年度は受診率65%を境に、国保から支出する後期高齢者支援金に加算・減算があります。

ご協力をお願いします！
お問い合わせ先
保健センター
TEL：0997-97-5105

行政に対するご相談は、行政相談委員へ

平成23年4月1日付けで、池田一郎さんが、行政相談委員(総務大臣委嘱)に委嘱されました。国の行政機関等の業務に関する国民からの苦情の相談を受けて、必要な助言を行ったり、関係行政機関等にその苦情を通知し、その解決の促進を図ります。また、業務の遂行を通じて得られた行政運営の改善に関する意見を総務大臣に対して述べることにより、行政の改善に貢献しています。



行政相談委員の連絡先住所
与論町朝戸1710番地 電話：0997-97-2658

平成23年度 労働保険年度更新のお知らせ

6月1日から7月11日は労働保険料の「年度更新」申告期間です。

○本年度より、年度更新の審査業務が外部委託され、申告書受付は原則記入漏れ等をチェックするだけの確認作業になります。このため、申告書は記入誤り・漏れが無いように自主的な記入・申告をお願いします。また、申告書の電子申請・郵送による提出もご検討ください。

○6月はじめに送付されます労働保険料申告書・納付書により、期間中に申告・納付を行っていただきますようお願いいたします。

問い合わせ先
鹿児島労働局労働保険徴収室 適用係
電話：099-223-8276

島の体験型
観光の拠点

ゆんぬ体験館がオープン！

島の体験型観光の拠点としての施設、「ゆんぬ体験館」が完成し、4月26日、関係者らが集まり落成式が行われました。

完成した「ゆんぬ体験館」には、調理施設や研修設備が整備され、「文化」「食」「海」の3分野にわかれた、27のプログラムが体験できるようになっています。

この施設は、島を訪れるお客様や、修学旅行生の受け入れ施設としての活用のほか、島に住む方にも広く活用していただけます。

落成式では、テープカットの後、昔、新築祝いの儀礼として行われていた「ミシヤフ」（古くは米でつくった御酒であったといわれるが、後にはカイマイ（粥飯）のウーシル（上汁）を、青年二人が、新築の家の内と外から四隅に吹きかけ三度回る儀礼）が行われたほか、さまざまな島の郷土料理もふるまわれました。

① オープンを記念して行われたテープカット

② 島の郷土料理でおもてなし

③ 昔行われていた新築祝いの儀礼「ミシヤフ」



文化の体験

歴史・史跡探訪



古の与論を探訪する。
（島の歴史再発見）

海の体験

トビウオ漁
（ロープ引き）

海を滑空する
トビウオといざ決戦!!

食の体験

ゆし豆腐・
おから作り体験

一昔前までは、
各々の家で豆腐を
作っていましたよね。

※体験メニューのご予約は、
体験前日迄にお願い致します。
※人数により、体験会場が変更する
体験がございます。
※天候によっては、
実施できないメニューもございます。
※当日のキャンセルの場合は
キャンセル料(体験料の5割)
が発生致します。予めご了承ください。
※漁業権及び各体験施設と協議済です。

お問い合わせ・ご予約電話番号
0997-97-3396 サザンクロスセンター

体験メニュー一覧

内容	時期	実施場所
磯遊び&海水風呂『ちぶ』	5~10月	島沿岸
赤イカ釣り	8~10月	島周辺海域
トビウオロープ引き漁	5~8月	島周辺海域
パヤオでの大物釣り	通年	島周辺海域
沖合船釣り	通年	島周辺海域
熱帯魚追い込み漁	通年	島周辺海域
熱帯魚釣り（船釣り）	通年	島周辺海域
キビ収穫	12~3月	島内各地
キビ収穫&黒糖づくり	12~3月	民俗村
薬草に学ぶ	通年	島内
よろんのエイサー	要相談	島内
陶芸体験	通年	ゆんぬあーどうる焼き
大島紬織り体験	通年	いっちゅう本館
農家体験泊（簡易宿所免許取得農家）	通年	民家
歴史・史跡探訪	通年	ゆんぬ体験館・城周辺
塩づくり体験	通年	ゆんぬ体験館・青い珊瑚礁
三線・島唄体験	通年	ゆんぬ体験館
風鈴作り体験	通年	ゆんぬ体験館・ギャラリー海
月桃入りの和紙作り体験	通年	ゆんぬ体験館
デコパージュ（オリジナル写真立て）	通年	ゆんぬ体験館
板釘機織り体験	通年	ゆんぬ体験館
陶器への焼付体験	通年	ゆんぬ体験館
クラフト体験（手編み籠）	通年	ゆんぬ体験館
ジェルキャンドル作り	通年	ゆんぬ体験館
ゆし豆腐作り・おから料理	通年	ゆんぬ体験館
郷土料理・お菓子作り体験	通年	ゆんぬ体験館
ジャム作り体験	通年	ゆんぬ体験館